

SPOT サークル -3- MOS

外国のビジネスを学ぶのは『MUST』なんだ

海外横断ビジネスサークル

「スウェーデンは政策として社会福祉・環境保護に力を入れているし、通信・デザイン関連の企業も日本よりずっと先を行っています。そういうスウェーデンの良い面を日本と比較しながら、何か日本にフィードバックできればいいですね」

代表の碓祐輔さん（経2）が語るように、MOS（モス）の活動はスウェーデンの企業・学生とビジネスを通じた異文化交流を行うこと。年



取材のちょうど1カ月後にホームステイが始まることもあり、スウェーデンについて、嬉しそうな表情で語っていた碓。

内容がビジネスに及ぶと真剣な表情に変わる姿からは、代表としての風格が窺えた。

度末にはスウェーデンの学生との交換ホームステイ、ほかに両国に関連した各種プロジェクトやスウェーデン大使館のイベント手伝いも行う。

「ビジネスと英語を同時に学ぶために」MOSに入ったという碓も、スウェーデンのビジネスを勉強したり、スウェーデンの学生と連絡を取り合うことで外国から日本を見る視点が養えたという。

「日本にいてもビジネスは限られたものしか見えてきません。海外の企業や学生との交流を体験したり、

そういういろんな知識に触れていると、外国のビジネスを学ぶのは『MUST』なんだと感じてきますね」と碓は言う。

「今までも日本の学生に対してスウェーデン企業の認知度調査なんかをやったことがあったり、MOSはビジネスの側面が強いサークルなんです。今年1年生が入ってきたら、全学年のメンバーを使ってもっとビジネスに向けた活動がしたいですね」。碓の展望は明るい。

内部からと外部からの刺激

そもそもは、4年前に国際交流団体GETのスウェーデン部門から独立した新しいサークル。ホームステイの人数制限から毎年1、2年生計11人しか参加できないなど、サークルとして一風変わった部分も多い。

組織形態もその1つ。MOS自体が1年完結型のプロジェクトであるため、毎年選ばれた代表が組織形態を1から決定していくのだという。

「今年は、メンバー1人ひとり」と面